

センダイスゲ

Carex sendaica Franch.

カヤツリゲサ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー 該当なし

選定理由

県内における既知の産地は局所的で確認情報も少ない。(現況:RO)

形態

近縁のナキリスゲに似るが、ナキリスゲが密に叢生するのに対し、本種は地中に匍枝を伸ばして株はゆるく広がる。小穂は3~4個とナキリスゲより少ない。ナキリスゲ(*C. lenta* D.Don)の変種として扱われることもあるが、ナキリスゲと同所的に生育する場合にも形態的に連続しないように感じられるので、ここでは独立種とする説をとった。

国内分布

本州(岩手県南部以南)、四国、九州。

県内分布

外浦区(珠洲市、志賀町富来地区)、中能登区(志賀町、羽咋市)、口能登区(羽咋市)、南加賀区(加賀市)。

生態など

多年草。ナキリスゲと同様に秋咲きで、花期は9~10月、果実は晩秋に熟す。

生育環境

県内では海岸林の下に生育。

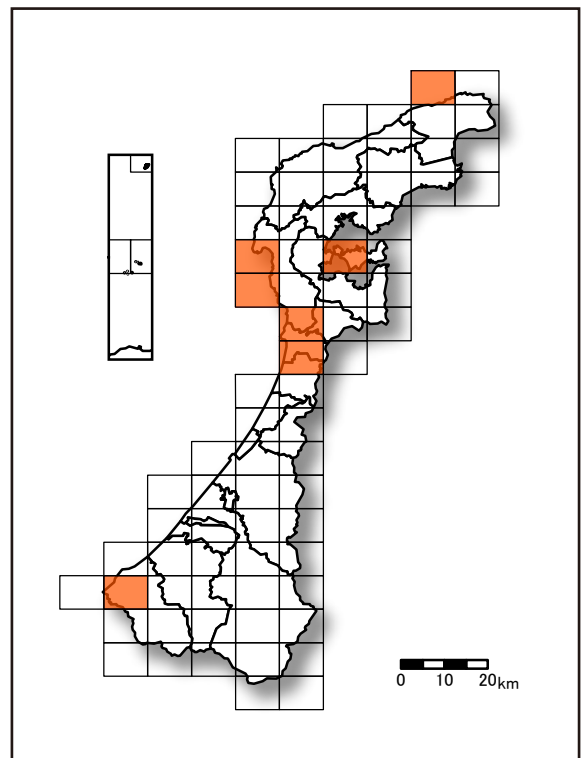
危険要因

海岸開発、自然遷移。

特記事項

生育地の一部は能登半島国定公園および越前加賀海岸国定公園内にある。
勝山輝男. 2005. 日本のスゲ. 文一総合出版.
秋山茂雄. 1955. 極東亞産スゲ属植物. 北海道大学.

写真(図)はありません。



県内の分布